

君津まちづくりプロジェクト「住民協議会」 第1回議事概要

分科会	第2班
コーディネーター	石井 聡（逗子市市民協働部次長）
日時	2020年2月11日（火・祝） 14時00分から16時07分
場所	君津市役所 5階大会議室
その他	参加者数24名 欠席者数12名

コ) コーディネーター、市) 君津市職員、プ) プロジェクトメンバー、オ) オブザーバー

趣旨・概要

分科会テーマ

「” どんな機能” を” どんな規模感” で配置させるか？」

～” あると良い” でなく” なければならない” の視点で考えてみよう！～

- ・2班のテーマとしては、どんな機能をどんな規模感で配置させるか。
- ・例えば、保育園は車で20分なのか、10分なのか、小学校区に1つぐらいなのか、もう少し広くてもどうせ車だから良いのか、ということを皆さんで議論し、意見を出してもらいたい。
- ・今日とはとにかく皆さんに色々なアイデアを出してもらおうことが2時間の使い方になるので、シートにたくさん書いてもらいたい。
- ・次回が最終回なので、皆さんからいただいた意見をまた集約して、1月から始まった全体の中での皆さんの意見をまとめていく必要がある。今日とはとにかく少し脱線しても良いので、なるべく多くの意見を出してもらおうのが狙い。

協議の流れ

コ) 冒頭の市長の話の中で、どうしたらもっと施設が使いやすくなるのかについて、皆さんの意見をいただきたいとあった。単純にサービスが使いやすくなるのであれば、タダで、すぐ側であって、新しい建物でというのであれば、そういう意味での要望は皆さんからいただけたと思う。ただ、どうしても条件があって、経常経費は減らしたいと話があった。予算370億の中で、9割は使い道が決まっている。使い道が決まっている中に施設に係る予算も入っている。施設があれば人件費がかかって、光熱水費がかかっており、仮に誰も使わなかったとしても、一定のお金はかかってしまうので、そこは工夫しないと、当たり前のように毎年かかってしまう経費は減らせない。より良いサービスは提供していきたいが経費は減らしたいというのが本音としてはあると思う。

それと人口は減っていくので、なるべく若い働ける人口を増やしたいというのは、まちとして目指す姿としてはあるが、現状としては減っていくということはあるため、そこは意識しないといけない部分。これが市長から話のあった2つの条件です。

前回のB班の議論の中で、皆さんからいただいた、施設を考える上でのもう1つの条

件が私はあると思っており、3つ目として、私の意見ですが、最初に建設した時との社会環境が変わっていることもあるかなと思う。これがもう1つの条件というか要素かなと思う。

前回のレビューの時に小糸公民館の話が出たと思うが、建設時は格好良い建物だったのだろうと思う。凝ったデザインで、昭和の時はあそこで結婚式をやっていたとの話も現地で聞いたが、今あそこで結婚式をやろうと思う若い人はいないからやっていないと思う。そういう意味では建設された最初の時のコンセプト、設計時とは社会の状況が変わってきているので、そういったものも施設の今後を考える上で重要なのかなと思う。

B班の前回のレビューで、子育て支援センターがあり、建物自体は古いが、サービス自体はまだ10年という意味では、新しいサービスではないかと思う。そういった社会が変わって子育てが比較的孤独というか、家族が少ない中で子育てせざるを得ない状況では支援センターがあった方が、より良く子育てができるというのも社会環境の変化なので、そういったものに、どのように対応していけるかが3つ目の制約条件、縛りになるのかなと思う。

そういったことを全体的に考えていただいて、公共施設からこのまちの未来がどうなったら良いかを皆さんで考えていくのが、この2時間になる。

その中で今回3つの班に分かれて議論するが、前回B班は図書館、公民館などの限られた施設だけを話題にしたが、今日はそういったものを一旦取り払って、細かくは知らないかもしれないが、全体をもう一度対象として、話題としては何を、A班の例えば、スポーツ、産業、観光、福祉、文化ホールなど、そういったもの全体を対象として構わない。

先ほど全体会で2班のテーマとして、どんな機能をどんな規模感で配置させるかとしました。これは全体会でもありましたが、議論の入口で、何も無い中で全体の94施設どうしましょうかといかないので、皆さんの意見を整理した中で、2班としてはこの辺りをテーマとして、議論を進めていこうと設定しましたので、脱線してもこの94施設の範囲の中であれば脱線しても良い。ただ、どこまでの施設という意味で脱線していくと、延々と行ってしまうので、今回は94という幅でやらせてもらいたい。なぜ94かといえば、公共施設というと道路も含まれ、道路のあり方を考えると無限に広がってしまう。今回は94施設を切り口に、それに関連する形での意見を出してもらいたい。

2班のテーマをもう少し詳しく言うと、こういう機能がこのぐらいの範囲に欲しい。前回B班のレビューの中で、私は公民館の担当者に、車で30分ぐらいのところに公民館が、どこの地域でも、どこにお住まいの方でも、あった方が良い感じが聞いたところ、15分ですと言われた。そういう意味で規模感というのは、皆さんがどのぐらいのところに、どのぐらいのものをお求めになるかということだと思う。

歩いて5分のところに野球場が必ず欲しいと言う人は多分いないかと思うが、コンビニが欲しいと思う方はたくさんいるのではないかな。その辺りを今日は皆さんで話し合

ってもらい。こういう機能が地域に必要なのではないか、こういう機能は市に一つあれば良いのではないか、こういうのは車で30分ぐらいのところに欲しいというのを議論してもらおうのが2班のテーマ。

その中で先ほどの予算の話とも関連するが、あると良いは皆さん誰もが考えると思うが、それを全ての人に叶える訳にはいかないので、せめてこのぐらいの形で欲しい、無いと困るといった話を進めてもらいたい。

そこに関連して、前回のレビューであったB班の議論として、放課後児童クラブ、学童保育の件だと思う。市の担当者からすると、全部の地区にあるとの説明に近い説明があったが、そうではないと会場の中であった。小学校区ごとに完全に標準装備されているほどの状況にないのが君津市の現状だと思う。そういう方向に市として持っていくのかどうかというのが、先ほどのこのぐらいの広さにこれぐらいの設備が欲しいという議論になると思う。

例えば、保育園は車で20分なのか、10分なのか、小学校区に1つぐらいなのか、もう少し広くてもどうせ車だから良いのか、ということを皆さんで議論し、意見を出してもらいたい。

今日、最終的に午後4時の時点で、何を皆さんにしていっていただきたいかという、業務改善シートに何を課題とと思っているか、それに対する解決方法を全部埋めなくとも良いので、1つでも2つでも箇条書きで記入し、提出してもらいたい。当然、ここでの議論や意見は事務局で整理して、次回の議論までに資料としてまとめるが、2時間の中では発言の制約もあるので、皆さんの言葉で整理してもらう方が正確かなと考える。今日とはとにかく皆さんに色々なアイデアを出してもらおうことが2時間の使い方になるので、シートにたくさん書いてもらいたい。

次回が最終回なので、皆さんからいただいた意見をまた集約して、1月から始まった全体の中での皆さんの意見をまとめていく必要がある。今日とはとにかく少し脱線しても良いので、なるべく多くの意見を出してもらおうのが狙い。

前回B班の中では、特に公民館、行政センター、コミセンの違いが判らないといった意見があったが、それに絡むのは、それぞれの地域にどういった施設が欲しいのかだと思う。今回は地域バラバラに集まっており、それぞれの事情、環境あるとは思いますが、どなたか意見あるか。

- プ) 小櫃在住。出身は県外。生まれたところに住んでいると良いこと悪いこと、それが当たり前と思ってしまい、時代に対応できず新しいことができない。出身でない人は、良いところ悪いところを見ることができる。このプロジェクトも住民だけでなく、他の人が来て進行すると、よそから君津市を見てもらい、考えてもらうことになるので良いと思う。

君津市には5つの地域があり、市域が広いので地域によって、いろいろな風土がある。それらの地域が特色を持って発展というか、特色を持ったまま住みやすいということが一番のポイントになると思う。住みやすい地域とは、小櫃のことしか言えないが、周辺に田、里山があり、農業地域のため野菜を作っており、地域の皆さんの絆が良い。

絆を持って生きている。そして、学校、公民館、診療所のような主要な公共施設もあり、良い状況で皆さんは活用していると思う。

コ) そうすると現状維持で良いか。

プ) 私は、小櫃の公共施設は現状維持で良い。

ただし、憩いの家すえよしはお風呂があり、災害のときは風呂があつて良かったと書いてあつたが、近所にあるがあまり行ったことがない。市でやっている必要があるのかとも思う。細かく見ていくと知らない施設も出てくる。

人口を増やすのは難しいと思うが、減らさない努力、方法を考えていく必要がある。減らさないためには、今住んでいる人がよそへ出ていかないようにするのが大事。よそから連れてくるのは難しい。今いる人が住んでいるところが良い場所だとわかってもらい、ずっと生きて欲しいと、いろいろな方法で子どもたちに教えている。

コ) それぞれの地域が特色を持って、が1つ目。個別の話からすると、老人憩いの家は使わない、が2つ目。人口対策として、今いる人を減らさない、が3つ目。

1つ目として、それぞれの地域が特色を持ってというと、逆に意地悪く言えば、全部の地区に全部同じ施設はいらないうこと。ある地域は野球ではなくサッカー、ある地域はやっぱり野球、ある地域はバスケットボールのための体育館と、そういった意味で地域の特色はあつて良いと思う。そうではなくて全部の地域に保育園は必要でしょうという考え方もある。その辺り皆さんはどうか。もちろん分野にもよると思うが。

プ) そんなに特徴はあるのか、各地域に。5地区でそんなにもものすごく差があるのか。

コ) 私は分からないので、皆さんから。

プ) ある。

コ) 地域差があるか、ないかで意見が分かれている。どういった点であると思うか。

プ) 私は清和地区のうち三島地区に住んでいる。地図を見てもらえばわかるが、清和の公民館や行政センターは小糸地区に近いところにある。距離もあつて、端から端まで30分ぐらいかかる。それから中に入っていくと、公民館とか行政センターに行くのにすごい時間がかかる。年寄りも多く、交通機関もなく、日に数本のコミュニティバスがあるだけ。一番感じたのは秋の台風、その時に三島地区は道路が寸断され、行き来ができなくなった時があつた。公民館には救援物資等が届いているが、そこに取りに行くことができない人がたくさんいた。そういったことから三島地区にも災害があつたときのための施設とかが必要なのではと思う。

コ) 災害の時の拠点があれば良いということか。

プ) まずはそれが一番に必要な。

コ) 災害拠点が欲しい。

プ) 山なので災害の時あちこちが崩れ、行き来ができなくなってしまう。

プ) それは、うちも一緒だった。私は練木だが、台風の時、電気は1週間止まった。

コ) 災害時をベースに考えると、交通が寸断されるところ全部に公民館を置くのは現実的でない。そういう意味では必ずしも施設でなくて良い、拠点があれば良いということ

か。

そういう意味で言えば、2班のベースのテーマである機能。機能とはハコではないので、例えば、何さんの庭先は車が20台止められるので、そこを災害時は拠点として物資を配ります、と決めておけば何割かは解決できる。拠点という意味であれば。それでは駄目か。

ブ) でも広いですよ。

コ) 今のような指摘の議論を、色々な分野で、保育から文化から生涯学習からスポーツから全部重ねていった時に、どの地域にどういう建物があって、その中にどのような機能を盛り込んでいったら良いかという議論があると良い。

そのため、災害時だけをベースにしてしまうと、みんなが災害時に救援物資を取りに行ける距離、全部に色々なものを詰め込まないといけないので、そうするとすごく数が増えて、すごくお金もかかる。今年は災害が無かったかもしれないが、そこに常に備蓄しないといけなくなるので、その辺りのバランスだと思う。でも必ず災害はあるので、無いことをベースにはできない。どの辺りで皆さんが最終的に納得するか、皆さんで決めてもらいたい。さっき、私が学童保育で標準装備の話をしたが、何をこの街の標準とするかは皆さんで決めてもらわないといけない。

プ) 私は松丘地区。君津市の人口動向を見ると、減っているが、最たるところは上総地区。君津地区はほとんど30年間変わっていない。人口減少を食い止めるのは、上総・三島地区を食い止めることが必要。そうすることで、なだらかなカーブを作ることになる。私が調べたところ、我々が住んでいるところの人が君津地区に移り、君津地区の人が木更津市へ移り、木更津市は袖ヶ浦市へ移る。袖ヶ浦市や木更津市から君津市へ来る人と差し引きすると、君津市はマイナスである。上総地区、清和地域から移るのを防ぐ対策が必要では。

その中で公営住宅が上総地区にはあり、それぞれ築年数が30年以上経っていると思う。入居者もないし、きちんと統合等を考え、どこかに良いものを作って、そうすれば若い人が入って来るのではないかと思う。

例えば、あけぼの住宅を取り壊すとすると、入居者の利害関係が絡むので、そういったものを取り払って、市として英断を下して、どこそこへ作るしてもらえれば、個別に藤林の住宅を無くし大きな住宅を作るといった議論も必要なのではないかと思う。

災害時の話では、我々の地区は学校が無くなる。今、小学校の講堂は災害時の避難所であるが、廃校になったとき、それが拠点として使えるのかどうか。それが使えるのであれば、新しく作る必要が無い。そういった我々の地区にも目を向けていただいて、拠点まで30分、10分、15分以内になければならないも必要でしょうが、我々は元々30分かかるので、そういった地域の特性の中で、公共施設の何をどうするか、統廃合ということが考えられればと思う。

コ) 今の意見は30分以内で何か欲しい以前に、すでに失われている部分が大分あって、災害拠点も車で15分以内に既にないかもしいかなという危機感というか、そういう

ような状況。

- ブ) 三島地区は今回の災害で行けないという状況だったのでは。ただ、災害の時だけを考えても仕方がないので、平常時の事も。
- コ) 災害の時だけの施設は成り立たないというか、そこにそういう建物があるという認識から落ちていってしまう。
- プ) 松丘地区の場合は、50年に1回使うか使わないかなので、多額のお金を投入するのはどうかと思う。
- コ) 条件的に困難な地域にこういった場所は、最終的にしっかり残さないといけないという要素はあるか。
- オ) 先ほど5地区との話があったが、そこにはそれぞれの生活体があって、昔からの住民のスタイルがあり、ところが合併をしてきたことにより、繁栄をしていた時、我々が若かった時は、あまり統合されても不自由はなかったが、だんだん高齢化になってくると、生活スタイルはそのまま残っているが、統合されたり過疎化になってくると、生活体、昔の生活スタイルが崩れてきている。そうすると不便さだけが残ってしまう。

三島の話が出たが、災害が起こればああいったことが大事だが、学校が統廃合され、残った学校がどうなるかはわからないが、そこに集落はある。

コストの話もあり、今まであった学校を何か利益を生むようなもので生活に絡めて、住民が維持管理するような活用ができないか。

そして拠点としては残す、規模感は分からないが、何らかの形で残して、なおかつ少しでもお金がついてくるような機能、利益を生むような機能をもった拠点ができないものか、そして災害の時はそこを活用する。災害のために置いておくは全く駄目だと思うので、何か日頃の生活と絡めて、そこに年代年代の人たちの知恵だとか、自然が豊かな地域なのでそういったことを利用する。国民宿舎のようなところを上手く絡めながら、外部の旅行者なりを、遊びに来られるような施設を絡められないか。そして機能を、これから先のスタイルに大きく変えながら拠点として維持できれば。

- コ) その拠点はどのようなイメージか。何の拠点、何をやる場所か。
- オ) 日頃は旅行者が集まったりというか、道の駅の小規模のようなものというか、地元のものを買物ができる、生活の中に繋がるようなものができるか。生活と離してしまわずに、時には観光客が寄ったり、日頃は自分たちがそこを利用していたり、災害になったら、いざとなったらそこを使える。拠点ということでは、弾力的に使えるものにしていけないものかと。

君津だけとってしまうと、人はどんどんいなくなってしまう。特に清和は人が出て行ってしまっている。

もう1つ大事なのは、交通との関係があり、公共交通機関の問題もある。その繋がりが全く寸断されており、余計に過疎化に拍車をかけている。あるいは道路の整備ができない話にも繋がる。公共交通機関は大きな因果関係があると思う。

- コ) 1つ目の話で私が千葉県で思い浮かんだのは保田小学校。廃校を使って、道の駅かも

しれないが、普段は近所の人が集まれる場があつて、お風呂もあつて、災害時はそういう機能もあつた。あれは大成功例で、鴨川市でも廃校をどうするかという会議をしたが、なかなか保田小学校のようなシュチュエーションは他にない。金額的にも十数億かけて、あれなのですごく難しいことは難しい。今の話を聞いた限り、理想形はあれなのかなと思う。あの規模でなくとも良いのかな、教室2つ分ぐらいでも、体育館を使わなくても良いが、ああいうものがあれば、地域が生活を維持する拠点にはなるかもしれないし、観光施策にもなるかもしれない。

前回の施設レビューで、議論できていなかったが、2つ目の交通の話。交通が不便だから車でしか動けないから、今のこの施設配置になっていると、これはどうしても裏表の関係にあり、こういうふうに動けるからこういう規模で施設配置にするとか、こういう規模で機能を配置するとか、そこはセットの話となる。ここは欠かせない視点かなと思う。

- プ) 今、テレビで「ポツンと一軒家」が流行っていると思うが、何かそれを利用してできることはないか。
- オ) 清和スポーツ広場、テニスコートについて、私もどこにあるかわからなかった。年間4人しか使っていないものは、無くしてしまっても良いが、逆に人を呼べるようなものを、旅行者とかが、そこで何か1つ加えることによって、清和には鉱泉が出ているので付加価値が付いて、その広場が今までと違う形で使えるようになるとか、潰すべきか再利用・付加価値を付けるべきかそういう視点も必要と思う。
- コ) 前回の施設レビューの中でも、松丘スポーツ広場は、市外の人利用が多いが市内の知り合いに頼んで、市内料金で使いたいが、なんとかならないかという話があった。公の施設は市民のための施設なので、安い金額で設定しているが、例えばスポーツの合宿を外から呼び込んで外部の人が使うのだったら、このくらいの金額で、外の人に使ってもらうように方針を転換しても良いし、今の提案のように、清和の人向けをやめて、外の人専用にして、誰かに活用してもらって、人が動いたり収益が上がったりする形に転換しても良いですね。
- オ) 地元の方は、地元の人で使えるようにしてもらい、都会の人の夏の合宿に使ってもらうような利用の仕方もあると思う。
- プ) 今年60歳になった。同窓会などで仲間に会うとみんな定年になっており、地元に戻ろうかという話が出る。その時一番の問題が職場と遊び場。仲間の一人は自宅を改装して、イングリッシュガーデンでカフェをやりたいと、それはまだ夢だが。土地が売れて、その代替地が入った仲間は、そこを造成してキャンプ場をやりたいと言っている。帰ってきたいと言っている人間に対し、何か協力できないか。
- プ) バラの話が出たが、富津市で自宅の庭でやっている人がいる。
私は菊友会をやっているが、公民館活動で一番古いと言われているが、皆さん70歳から80歳で、どんどん人がいなくなって日本製鉄も手を引いてしまった。そのため輸送代等にすごく費用がかかるようになってしまい、4月からは各自でガーデニングをするようにした。今までは市役所1階ロビーでやらせてもらっていた。

そういう風にしてガーデニングはすごく良いことだと思うので。ただ、市が協力してくれればすごく助かる。

- コ) どんな協力ですか。
- プ) 例えば、パンフレットを新聞に載せるだとか。この時期はここが綺麗ですよとか、バラだったらバラの時期。木更津でもガーデニングやっているし、家を開放し、その中でコーヒーとお茶菓子を出したりしている。富津は何もしていない、見せるだけで無料だが、来た時にお茶を出して、お金をいただくといったこと。これからそういう時代になるのかなと、公民館活動としても舵をきっているところです。
- コ) 今までみたいに公民館に集まってだけでは、会が維持できなくなっているのか。
- プ) 袖ヶ浦はマップを作って、ホームページに載せている。
- コ) それは市役所がやってくれているのか。
- プ) 私の知っている人で植物の絶滅危惧種を集めている人がいる。その人も自宅をカフェにした。
- プ) そういうことで市役所の方々もここに集まっているので、ぜひ協力してもらいたい。
- プ) そういう催し物を皆さんがやりたいのであれば、フリーマーケットがあると思う。場所代を取られると思うが、そういうので利益を上げて、市で開催しているとホームページに載せてもらえば、他の人たちも来て、そういう場所として提供。普段使うものとして考えると、小中学校でインターネット、パソコンを導入すると知ったので、そういうことを施設で教えてもらえるようなものを開催しても良いのかなと思った。子どもも使えるようにしていかないと意味が無い。国がせっかく導入してくれるなら、そういうものも視野に入れながら、最先端のものでもありつつ、フリーマーケットのような大人が使えるものも考えてみて良いのかなと。場所代とそういったところで、両方で共有できるもの。
- コ) 今の皆さんの話を聞いていると、市が直接事業としてお金を出すのではなくて、市は場所とか情報を流すところだけの支援をすれば、後は市民が自由にやるというような、市との距離感なのかなと、そのようなイメージか。
- プ) 公共施設は市が管理しているものなので、市が利益を出さないと意味が無い。使えなくなってしまうので、フリーマーケットとかの場所代の利益も出てくると思うので、そういったところを取り入れながら、月に1回とか2回程度で開催するとか。
- コ) もっと柔軟な形で使うということか。
- プ) フリマだと結構色々な人が集まるので。
- プ) 珍しい食べ物とかがあると評判になる。
- プ) その地域の出し物は色々あると思うので、そういったものをやっていけば。
- プ) これから働き方改革で、学童保育の需要が増えると思うので、学童保育は増やす観点が必要だと思う。今後も学校の統廃合が考えられるが、統合した場合、学校が無くなる地域は、学校が無くなった後をどのように活用するかは、地域で考える必要があると思う。
- プ) 学校の跡地は膨大な敷地で校舎もあり、民間の我々にどう活用するか投げかけられて

もこういう案があるから自由に使えますか、やって良いとはならないと思う。大きなものは、市が一つのを提案、あるいは二つのも、三つのもを提案してもらい、その中で住民とコミュニケーションを図りながらやっていきたいと思う。

松丘、亀山は無くなるので、放っておけばイノシシの運動場になってしまう。私が指定管理者になってやっていくことも、それはそういかないので、廃校の跡地、校舎については市がある程度の方向性を示してもらえれば。

学校が無くなるということはコミュニティの場所が無くなる。そういったことも考えながら。

- コ) 今のコミュニティの場とはどのようなイメージか。
- プ) 学校があるとPTA、青少年など多くの集まりの場があるが、学校が無くなるとそれが全部無くなってしまい、地域のコミュニティが非常に欠落していく。
- コ) 廃校後もそれらを続けていくには、具体的の場とは、PTAとか学校に紐づいているものは無くなっていくが、どのように残っていくか、例えば運動会とか。
- プ) 今、現実的には何も残らないと思う。
- コ) 逆に何を残せば集落として機能し、集落として維持するためには廃校に何を残していけばよいか。
- プ) そういう論議も今はされていないのが現実。
- オ) 私も清和なんです。清和も三島小と秋元小が空き、来年から清和小になる。清和地区に学童がないので、私は補助金をもらって放課後子ども教室を始めた。今は子どもに絞っているが、そこで地域の方に講師をお願いし、その方に報酬を払い、学童なので子どもを集めて宿題の見守りをすれば、そこに雇用も生まれる、ということをやっている。今、放課後子ども教室を入口にして、校舎を使いたいという話があるが、色々なところへ広く許可が必要で制約がある。

清和は学童がないのでそれから始めたが、ゆくゆくは地域のコミュニティの場にしたい。日中はサークルだとか、ピアノを教えたい人は学校のピアノを使う、英語ができれば英語を教える、編み物が上手なのでやりますとか、そういう人を呼びながら、そうすれば年寄りも若い人も秋元小に行けば、なんとか遊べる、そういう場所を作ろうとしている。

道の駅との話もあったが、秋元小学校の入口が狭く、商用地としては厳しい。保田小は立地が良いので成功しているが、そういうことから考えると市から投資していただいて収益を得るようにするのはかなり厳しい。逆にハコモノを維持してもらうという経費はかかるが、地域の人にある程度自由に使えるものにしてもらう。公民館の利用の枠が広がる。例えば、洋服を寄付してもらったものを、古着屋ではないが、100円でも販売するとか、小さい子のおもちゃをそこで売るとか、そこに行けば子どもから年寄りまで遊べる、そういう場所にしたいというのを企画中。そういうのが地域に一つ残っていれば、とりあえず小学校に行こうという感覚が残せればと思う。

- コ) コミュニティの具体策としてそういうものが、ミニ公民館でかつ、あれが駄目、これが駄目を極力減らすということ。
- オ) 各種イベントを企画して、やったりできるような広い場所もあるので、有効活用できれば。
- コ) 公民館で、市の職員が絶対いるのではなくて、住民の管理の中でやれるのではないかと、ということか。
- オ) そこが難しく、管理というのが。私も仕事をしているので、日中そこにいられないので、公民館の人がそこにいて、情報集約してくれる人として、そこにいてくれると非常にありがたい。イベントを企画しても私は日中連絡が取れないので、公民館が窓口になってくれるとありがたい。今の公民館が、もっと融通が利くようになってくれれば良い。
- コ) ただ、電話番でも人を置くと680万円かかる。
- オ) 今、公民館と行政センターが併設されているが、縦割りだから両方に残さないといけない。そこを一緒にすれば、人は半分に減らせるのではと思う。清和行政センターもたまに行くが、そんなに忙しそうではない。色々やってくれているとは思いますが、公民館と一緒にすることも可能なのではないかと。
- コ) 改善提案シートのあなたが考える現状の課題とは、ざっくり言うと今の現状とあなたが、こうあるべきと考えるギャップを課題と考えてもらえれば、少しわかってもらえると思う。例えば、本当は昔、近所の子どもが遊んでいるのが公園だと思っていたが、最近ほとんど誰も遊んでいない、なぜだろうというのが課題だとしたら、実はそれは危ないからという理由で市が遊具を全部片づけてしまったからとか、そもそも地域に子どもが誰もいないのに公園だけが残っているからとか。そういう課題があって、だったら高齢者が健康づくりできる公園に変えた方が良いのではないかと、最近、健康遊具というのがあって、そういうのを置いたら、すごく人が集まったという、それはあくまで一例だが、そういうのを課題と考えてもらえれば。いくつでも良いので書いてもらいたい。
- 前半は条件が厳しい地域の清和や廃校の話をいくつかやってきたが、その続きでも良いし、君津地区に住んでいる人から見ると今の施設は、このように見えるといったことでも良いので、発言の無い方からも意見もらいたい。感想でも構わないのでどうか。
- プ) 本日のアンケートを見たところ、今後、君津市民の一体感を重視すべきか、地域の一体感を重視すべきか、という設問があるが、当然地域性が異なるのもあると思うし、私自身も清和地区に住んでいて、大学は東京に行ったり、仕事は袖ヶ浦でしていたりと色々あるが、これだけ広い地域で人口も違うし、産業も違うし、交通も全く違う。清和地区は鉄道も無いので、大学へ通うには下宿するしかなかった。久留里線を延伸すれば良いのではというかもしれないが、山の管理者がどう言うかわからないので延伸できなかつたと思うが。これだけ違うものがあるって、それを全て一括で市役所をお願いをして、あれは残して、これは活かして、減らしてと言っ

でもなかなか難しいと思う。市民として一体感を出すチーム君津としてやっていくならば、ここにいる皆さんを地域ごとに分けて、自分の地域を、せっかく地図もあるので、ここにいる皆さんで話し合いをすれば、多分ここにいるオブザーバーの方、市役所の方などが、各地域の代表の方が来ていると思うが、そういった中で意見交換をすれば、意見を出す目的ならば価値はあると思うが、沢山の諸先輩方がいて、全く知らないこともたくさん知れるし、勉強になると思う。

それが目的でないならば、例えばこの地図を使って、この地域には施設がたくさん集まっていると当時は沢山施設が必要だったと思うが、2班のテーマは、あると良いではなく、無ければならないと思うので、一旦ゼロベースにしたところで、無ければならないもの、まず何なのか、医療なのか、福祉なのか、教育なのか、産業なのか、商業工業と色々とあると思うが、だったらゼロベースにして、ここに何を置いたら良いと考えていったところに適切なものが出てきたのであればその施設は残して、この機能を入れるとしていけば効率が良いのかなど、当然言いたいことはたくさんあるが、これは残して欲しいとかあるが、一旦ゼロベースにして考える。あるからにすがってはいけないと思う。

- コ) 特に後段のゼロベースはおっしゃる通りだと思う。ただ現実にはそこに施設、建物があったり、利用者が張り付いていたりするので、どこに何を残すかは、非常に難しいところです。今、医療、福祉、教育など示していただいたが、皆さん自身が順位をつけていくとしたら、置いておく機能は何が良いか、医療か。
- プ) 自分は教育です。子どもが職を手にするには、教育が必要だと思う。例えば、職業教育ができる施設を作るとか。自分が教員なのでそう思うのかもしれないが、そうやっていかないと子どもたちも市外に出て行ってしまう。この地域だからできる仕事、担い手が必要だと思う。
- コ) その地域ごとに教育的なものがしっかりないといけないというところか。
- プ) 学校はどんどん減っていくので。
- コ) それは個人のご意見として。そういったものを積み重ねていったうえで、最終的にはこういった機能が必要だ、とできるようになるのがというのが、こちらの仮説。

1つ目の地域ごとに、施設の話をしてはどうかということは、まさにおっしゃる通り。今まさに地域ごとの施設体系になっているので、当初は事務局でも地域ごとのこういった話をしてはどうかと案があったとのこと。ただ、冒頭で私が話をした3つ目の事、社会環境がだいぶ変わってきたこと、地域ごとに施設作っていた40年前、50年前と車で移動することが増えた。前回の資料では、地区ごとの地図があり、皆さんは地図が分かれていたもので議論してもらったと思うが。

境目というか、確か小糸行政センターの証明発行件数が多いと議論になったと思う。あれは君津の人が車で行きやすいということで、小糸に取りに来ていると話があったので、その境目を越えて、大分人が動いているということを見るには、どちらが正解かはやってみないとわからないが、この全体の地図の方が良いと考えて、地図を1つにまとめたとのこと。

今回は、車で動くとか、さっき公共交通の話があったが、そういったことを考えると、この5地区を混ぜた全体で議論しています。今、言ったように教育ということだと幼稚園、保育園から小学校、中学校ぐらいまでは各地域でしっかりやって、その後の職業教育は各地域に全部あるかといえば難しいかもしれないが、例えば、中学校ぐらいまでは各地域しっかりある。今、中学校の勉強だけでは厳しくて、塾に行ったりするのが割と当たり前になっている中で、ある地域だけ親が車で送迎できないから、塾に行けない子がいるとなると、その地域は不利だという話とか、そういったことまで考えたうえで、それを街全体で応援できる体制がないか、そういうことを考えないといけないと。

今、メンバーは教育が大切との話があったが、他に地域ごとにこういった機能が必要、こういったことを地域に残したいとか、どうですか。

- ブ) 今、ゼロベースでという話があったが、視点として投げかけたいのが、施設とかハコモノに依存する機能なのかどうかというのがまず1点。施設に依存するような機能を再配置するというのは、それこそ人の動きだったり、その人がどれだけその施設を利用するかということが重要なのかなと思うが、施設に依存しない機能だったらゼロベースで考えることが出来る可能性があると思うので、そういった観点で議論しても良いのかなと思います。

施設に依存しない機能というのは例えが難しいが、逆に施設に依存する機能であればインフラが通っていないとまずい、電気とかガスとか水道管が無いとまずい機能を配置するとか、スポーツをする場所が必要、とかは施設に依存すると思うが、そうでない施設に依存しなくて、機能を再配置することは可能と思うので、そういった視点で議論しても面白いと思う。

- コ) 私なりに今の話を聞くと、高校野球の硬式は相当施設に依存するので、野球場はあまりないと思う。あれを小学校のグラウンドでやったらガラスを何枚割る、人がケガする、例えばそういうものは施設に依存する。逆に施設に依存しないものは、例えば選挙の投票所は、今は公民館単位や学校でやっているが車いすのような体の不自由な方も屋根があって、電気があって、冷暖房があれば、極端な話ショッピングセンターでもやれる、実際やっているところもある。そういったものは施設に依存しない。もっと小さな規模で言えば、ピアノは若干依存するが、編み物だったら、今までは公民館の会議室でやっていたかもしれないが、誰かの家の茶の間で良いかもしれない。これは施設に依存しない。

つまり、これだけは施設が必要だから、ここにあって欲しいというもの、例えば、音を出すと近所迷惑だからとか、体育館でバスケットボールをするには一定の広さが必要だとか、設備がないと子どもとはいえ必要だとか、そういう意味でどう施設を配置していくかだと思う。

脱線すると、逗子市の学校のプールですが、小学校中学校全部の学校に8校中8校にプールがあるが、そのほかに市民プールみたいのが2つあるので、全部で10ある。プールは水もそうですがすごくお金がかかる。維持にもお金がかかるので本当

は減らしたいが、県内の別の市で、プールの指導を、民間のスポーツクラブのプール指導員にお金を出して委託したら、経費が賄えるらしく、壊れたところからプールをたたんでいくという決断をした市がある。そういう意味では、これまでは施設に依存していた小中学校の水泳の授業も、代替的な機能が民間にあれば、任せるということもできる。水泳は、学校のプールでやるものと先入観があるかもしれないが、そこを変えることで、実際にはバスを出して、委託に出して、それで収支がトントンになることもあるので、そういったことに切り替えることも時には必要なのかなと思う。

本当にそこでなければ駄目というのは、考えなければならないが、歩いて15分の場所はそこしかないならば、どうバランスをとるかだと思う。

- プ) 君津から木更津、袖ヶ浦へ、そちらへ人の流れがあるが、何でそのような人の流れがあるのか。私は何が原因でそういう流れがあるか、いつも思っている。
 - コ) 逗子市では、転出届を出すときにどうして引っ越すのかアンケートを取っている。そうすると何がないからとか、就職・進学の都合でとかが付いてくる。うちの市には大きな病院がないのでという人もいる。しかし、そういうアンケートに書くことは本音とは異なるので、なかなか難しい。入ってきた人の話は割と聞けるが、出ていった人は黙って出ていくので、そこは把握しにくい。
 - プ) 木更津とかの方が建売をやっている。要は住宅が売っているから、たとえば中島、泉の方で日本製鉄の人が家を建てたが、駐車場が1か所しかない。子どもたちが2人、3人いれば、車を停める場所が無いし、駐車場が無い。通勤するとしても、君津から行くのも木更津から行くのもそんなに変わらない。正門も木更津になった。住宅が売っていれば当然そちらに行きますよ。君津はあまり売っていないと思う。
 - プ) 利便性。高校卒業して地元に残るのはまずない。
 - コ) そうすると、あまり公共施設の話は関係ない。そもそも住まいの場、進学で離れるとか、就職で離れるとか。
 - プ) 公共施設は、私ら70歳は無ければ無いですが、働き盛りの人は、例えば松丘のスポーツ広場は、あれは計画が今から何十年も前にあり、その時は早朝、野球をやるとかでスポーツ広場を作ったが、できた時には、みんな60歳になっており、誰も球を投げられなくなり、地元の人誰も使わなくなった。さっき言った通り計画の時とギャップがある。
- ただ、そこは外の人が使っているの都合に使ったり、亀山に県の施設があるのでそこへ来て、ここを使ってサッカーをする人がバスを使ってといった利用の人が結構いる。作った時の目的との差が、かなりあると思う。
- オ) 清和は、主人の出身なので戻ってきた。割と清和地区は子だくさんの家庭が多いと思った。でもその子たちが全員帰って来れるのかというと、清和地区で子育てをしようとする、学童もない、中学・高校で塾に行きたいとなっても、送迎が必要となるので、今見ていると両親と同居していないと、共働きでは住めない。兄弟がたくさんいても帰って来づらい。土地はたくさんあると思うが、子どもを育てようと

思ったときに、なかなか戻って来づらいのかなと思う。ただ、だから清和地区はもう駄目かと言えば、そうではなくて、私は長野から来ていて、長野だと大学に行くと言って家から通えないのは当たり前なので、そういうところから来た人間から見れば、1時間で東京まで出られる利便性は、勝負になると思っている。田舎に暮らしたい人は一定数いるので、その辺りにアプローチしていけば、例えば、小糸などは、バスターミナルが近いので外から移住して来てくれる人もいるのではないかと思う。市としても空き家の情報とかを収集したり、畑付きの空き家などを、安く貸しますと言ったら、ある一定数は田舎暮らしをする人はいると思う。そういったときに広告を出すのは市内ではなく、山手線とか狭いところに住んでいる人たちに出してあげた方が良いのではないか。先ほど木更津の方が、人が増えているという話があったが、あれは高速バスのバスターミナル、バス停が羽鳥野にできたから。あの辺りは学校も新しくできており、人口も爆発的に増えている。都内に通っている身としては、同じ金額でどこなら家を買えるか、長野県から東京に就職して、なるべく大きな立地の良いところと考えた時に、柏や埼玉と比べても木更津は今勝負ができるので、すごく人が増えているのだと思う。君津でもまだ勝負できている。中の人を離さないというのもあるし、外から人を呼べる魅力もあると思う。

ブ) 農業振興地域で、三直などはそういったものを全て取り払ってしまえば、バスターミナルもあるし、家も建てられると思うが、にっちもさっちもいかない。

コ) 私は羽田から高速バスで来た。なぜ羽田からかという、逗子から羽田まで1時間ぐらいで行けるので、東京を回るよりも、羽田を回った方が近い。

田舎暮らしの畑付き空き家の話ですが、私の前の上司が畑をやりたいとのことで君津に引っ越している。この畑の広さで首都圏からまあまあ近いのは、一番条件が良かったのが君津市だったというのがあるので、可能性はあるのかなと思う。ただ退職してからなので、先ほど子育てには厳しいとの話とは合致しない。退職して終の棲家としてというのはあるかもしれない。

オ) 南房総市も辺鄙なところだが、人口は横ばい。なぜかと言えば子育てにすごくお金を使っていて、学校でそのまま塾をやってくれている。無料ではないが、学校を使用させることによってそのまま見てもらえるということで、最初は、先生方も外から入ってくるので嫌がったらしいが、今5年経ってみて、ようやく連携が取れてきた。授業で足りないところがここなのでよろしくと連携が取れている。近隣でああいう努力をして、人を手放さないように努力している市もある。バウチャー券というのを配って、街中の塾をカバーしているのがあって、ある程度までは市がカバーしてやってくれている。

ブ) 人口を転出させない方策は、公共施設にはあまり役に立たないか。

コ) 現役世代にはあまり使われていないとの前提で来ているが、どうなのか。

プ) 君津地区に住んでいるが、君津地区の子たちは結構、公共施設を使っている。すぐ行けるから。

コ) そういう意味でもすごく差があるということですね。

- ブ) 図書館も行くし公民館も行くし、学校が終わって部活が物足りないときに公民館でやっている。
- コ) それは子どもが歩いていける距離にあるということか。
- ブ) 私はコミュニティバスを使って行っているが、バスの時間に合わせて高校生は図書館で勉強している。この周辺の若い子たちは図書館を使用できるが、小糸や上総の子たちは車がないと使えないといった状況。施設が固まっているからこちら側に。昼間は使えるかもしれないが、ぎりぎりの時間は難しい。
- コ) 公共交通機関の問題は、高齢者だけでなく若い人もそうだということか。
- ブ) コミバスがもっとあれば通学できるが、時間帯がないと親が送迎となっており、厳しい状況にある。
- コ) ほかにないか。君津地区の方、今の話を聞いて。
- ブ) 学校が統合し余ったりしたとき、先ほど「ポツンと一軒家」の話があったが、時代的にネットとかがあるので、ネットを活用して民間にPRするなどして、民間が施設を買い取れば修繕もするし、雇用も生むと思う。収益も上がってくるし、人口も増えるしネットを利用して、やっていけば君津市も発展するのではないかと思う。先ほども出たが、君津市は東京からも近いし、交通の便も良いし、環境的にも海があつたり山があつたりして良いのでいろいろアピールしながら、空き家とかも。もっと君津市もアピールすれば、人口も増えるし、施設も再利用できるのではないと思う。
- ブ) 若い人の働く場所が無いのが、一番の問題ではないかと思うので、両親が年を取れば、大学で東京に行っても帰ってくると思うので、働く場所が無ければ帰ってきてもしょうがないということで、空き施設を上手く活用して働ける場所を作ることを考える。そういった場所を作っていくことが必要ではないかと思う。
- ブ) 君津は働く場所はないか。
- ブ) 魅力のある職場があるか。だいたい新日鉄や関連でも、地元の人をほとんど採らない。東北とかそういうところの高校に募集に行つて、入っているという状況。親が新日鉄にいるからと言って、じゃあ入つて働くというのはほとんどない。ほとんど就職活動している人たちは東北とか九州とか遠い地方の人。今の若い子たちはきつい、汚い仕事はやりたがらない、新日鉄でも高卒の子はほとんど来ないと聞いたことがある。
- ブ) 同じ職業の部分で、君津市は仕事がないと思う。私の娘が理学療法士になったが、本当は君津市で働きたいが無くて、結局、南行徳で働かなければならなくなり、1年間そこで働いて、その後に君津市で働くところができたら行くということになって。まずそういった状況があり、就職先の問題がある。そういった部分が改善されて行かないと、専門学校を出ても働くところはどこ？となつてしまい、結局地域で働けないということになってしまう。大学生活も同様で、都内に出てというのがあると思う。

- ブ) 交通が便利になったから君津市に働く場所が無くても、木更津でも東京でも働く場所ならいくらでもある。働く場所が無いというのは若い人の住みつく理由にはならないと思う。
- ブ) 高校を卒業して、働くとなって千葉でも通うとなったら車となる。高校卒業した子どもに300万円ぐらいの車を買わせて、通わせられるかとなると、現実的にそうはいかないと思う。その点で小櫃は近い。東京からも木更津からも、ただし、そこから奥へ入っていくとそうではない。
- コ) 私は今の話を聞いていて、地域差や個人個人の違い、そして冒頭で話した環境の話があると思う。昔みたいに就職すれば良いわけではなく、それぞれの個性もあってやりたいこともあって、東京まで飛行機を乗り継いで何時間もかかる山奥ではないので、少し行けば自分のやりたいものがあったりとなれば、地域の人にこの地域で暮らせというのは酷なのではないか。そういう環境変化があって、自分はこの地域に住んで、どうしてもやりたいことがあって、子どもは東京に行きたいと言ったら出すと思う。後はマッチングの問題で、この地域に全く仕事が無いわけではなくて、働きたい人がいないわけでもないが、ちょうどその人と合うものが無いのかなと思う。
- ブ) 木更津や富津や袖ヶ浦は企業を連れてきている。君津は、新日鉄があるからやらなかっただけではないか。他のところはみんな一生懸命来てもらっている。三井アウトレットパークだとか、イオンだとか、みんな来てくださいと呼んだ結果である。向こうが来たいと言ったのではなく、来てくださいとお願いした。
- コ) 企業誘致の努力が足りなかったのではないかとということか。
- ブ) そうすること。
- コ) そうするとこの公共施設で使わなくなったお金を企業誘致に使う優先順位になってしまう。
- ブ) 土地があると思う。
- コ) 土地をタダで渡すということか。
- ブ) タダでとは言わない。貸せば良い。今まで空き地にしていて、何も使っていないならば、最初の数年間はタダで貸すというようにして、来てもらえば良いと思う。そうすれば来ると思わないか。
- コ) 私は分からないが、そういう作戦の問題ということか。
- オ) 今日は公共施設で議論してきたが、先ほどゼロベースでとの話が出た。私は1回目でも言ったのでまた水をかけることはしないが、まちづくりがテーマで公共施設のありきで、そのコストや活用の話をするのは、やはりまちづくりのイメージが色々と違うわけであり、なので元に戻ってゼロベースで話すというようなことになっている。
- まちづくりプロジェクトと大命題を打ちながら、なぜ施設なのかというところに行ってしまうが、そういう意味では先ほどの魅力あるまちづくりと市長も話していた。最終的には人が戻ってくるような住みよい街という、その中の流れの中で施設

というものを考えようとしているが、なかなかそこに行かない。もう少し異なる視点が、働く場、公共交通機関というような話がどうしても片一方にあるので、私はもっとどんな機能をどんな規模でといったことをどんどん掘り下げていく話になるかと思っていたが、なかなかそちらへ行かないので問題かなと思う。これで我々に投げかけられた仕事をしているのかという疑問を感じている。

- プ) 公共施設をゼロベースとしても、利益に頼らずともやっていけるのか。要は施設の部分がなくなる、働く人たちもなくなる、その後、税金の問題とかで関わってくるものもなくなったら、改善できるものなのか。
- コ) 再編成というのは、例えば10個あって10人いた職員を6人にすれば、4人分の税金は他のところに使えるという話。
- プ) 施設が無くなったからその分の税金が浮く、でもそれがずっと続くわけではない。
- コ) でも施設があればその分ずっとお金がかかる。
- プ) でも人口が減れば、その分の税金は減っていくと思う。であれば利益を出していくことを話すのか、施設を無くしても大丈夫ということを話すのか、どちらを考えれば良いのかそれによっていろいろ変わってくると思う。
- コ) 利益を出していくことは不確実なので、確実なのは今出て行っている300億のうちの何割かをどう縮減して、サービスを組み替えていくかという話。

今は300億入って300数十億出ていっているが、400億入ってくれば全く気にすることはないが、それは見込めないし、300億も逆に減っていくかもしれない。手を付けていくなら、例えば介護保険や子ども手当とか学校の費用とかは来年から半分にとかできないが、一つの切り口として、27億の費用がかかっている公共施設。だいたい1割ぐらいの施設にかかっている。人口が減ってもこの1割はかかってくるので、施設の総量がある程度減らして、お金のかけ方を変えないと、難しいというのがお題。

スポーツ・公園施設、文化ホール、公民館、図書館が、延べの利用者数と歳出が大体似ている。文化ホールと図書館で、数字が似ているということは、利用者一人あたりに1,000円使われているということがわかる。今のまま行くと1,000円だが、上手くやって800円、700円にしませんかというのを、3つの切り口から何かできないか。ある種、脱線してしまうのは仕方がないが、最終的にそこに行かないと、人口が維持されたり、少しぐらい増えたところで、全体の300億の構造は変えられないので、なかなか難しい。

- プ) 両方やらないと意味が無いのでは。減らしてもいけないし、増やしていかないといけない。
- コ) 減らす部分と増やす部分の兼ね合い。
- プ) 結局はみんなで何かをやらないといけないということ。
- コ) ミニ公民館のようなものを作り、その管理を住民に任せて、ある程度のことまではできますよということがある地域ではできて、ある地域ではそれよりも高い税金

を払った方が良いという人がいるかもしれないし、その辺りのバランスをどう取るかということ。

また、改善提案シートに戻るが、個人としてできること、行政は何をやって欲しいか、地域は何ができるか。先ほど、塾に行けないならば私が教えてあげると聞こえたが、例えば、勉強を教えてあげられる人もいれば、地域で学習支援の場が廃校でできるかもしれない、近くの空き家に何となく中学生の溜まり場があって、そこで学習支援ができるかもしれない。

そういうようにやっていかないと、何でも全部税金でとなると、だいぶ厳しいと
なってしまう。

- ブ) そこでの話し合いをしてもらいたいということ。何をやって行けば良いのか。私は、市役所は何に対して手伝って行けば良いのか、ということだと思うが。先ほど皆さんがこういうことが出来ます、ああいうことが出来ますと話していたので、場所の提供料金を取るようなものを考えていかないといけないと思う。最終的には皆さんが自分で責任をもってできること、フリーマーケットとか、そういったものとかを導入していったら、根本的なものを一つ、声を大きくしてお題として、その中で皆さんができることを、地域ごとに考えてもらうのが、そういうことで利益が市の方に行くと思うので、税金の部分も上がっていくと思う。外部からもお金が入ってくるので、利用者からもお金を取っていくようにしていくべきかなと思う。
- コ) そのとおりに思う。脱線しているように見えて、一つ一つ言っていた意見はどこか公共施設の話に結び付いていると思っていて、フリーマーケットの話も、例えば公民館の利用要件を緩和することで、地域の賑わいを生んで、コミュニティの集まる場を生んで、公民館の収入も増やして、あとはそこからあそこのフリーマーケットは面白いとの噂が広がれば、外からの人も入ってくるかもしれない。
- プ) であれば、君津市のホームページで流してもらえれば。
- コ) そのような情報提供で手伝わと施設の利用要件の緩和をするだけで、そういった賑わいが生まれればみんなが幸せになれるかな。可能性があるというように感じたので、施設そのものから外れているかもしれないが、どこかで結び付いているものだと思っているし、先ほどのコミュニティの場ということも、公民館ではなくて、廃校でやっても良いかなと思うし、そこは色々と応用が利くので。大分、今回のまちづくりプロジェクトというテーマでは大きいので、やはり一つ一つ市民の皆さんの小さいところからでないと思われてこない。私は、テーマとして公共施設の未来を考えるだけでは小さいので、公共施設からこの街の未来を考える切り口として、入っていきましようとした方がわかりやすいと思う。廃校を考えることによって逆にこの集落にはこういう機能が必要なんだと考えるし、例えば、図書館に君津の高校生ばかりが利用しているのは、やっぱり足の問題があって、利便性の高い子ばかりが図書館で勉強できることになっていないか。塾に通うのも親や祖父母の余裕がある人ばかりが塾に行けて、塾も地域によってまだら感があるのではないかという、そ

ういうようにこの街全体を見ることによって公共施設をきっかけにしてやっていければ良いのかなというところ。

そういう形で、今日は進んできたので大分風呂敷が広がってきたが、いくつか解決策やアイデアをいただいている。

少し足りないのは、私の進行も悪かったが、地域で、個人で何ができるか、もう少し考えないと外頼みになってしまう。これだけ条件を整えたんだから外の人働いてくださいとしたのになんで入ってこないのと、外のせいになってしまうので、これだけおいしい食べ物あるのに何で食べに来てくれないのかと、買いに来てくれないのが悪いとってしまうので、やはりある程度は、中で循環していく仕組みを作らないと街として外頼みになってしまう、中国人の観光客が来ないから宿が立ち行かなくなるような依存は怖い。京都も最近空いている宿もあると聞くので、外の力、お金だけに依存してしまうと、ある日そこが途絶えてしまうと立ち行かなくなってしまうので、そこはバランスが必要かなと思う。

- プ) 公共施設を減らすことの目的は理解したつもりだが、今、フリーマーケットとか、産業の話とかあった。確かに収入が無いと話が始まらないが、収入は安定もしないし、予測もできないが、ランニングコストは安定している。毎年、毎年何億円もかかる。要は戦になったときに血を流しながら戦えるかということ。止血しなければいけないが今はその状態。一旦血を止めてでも次の段階にいかなければいけない段階なのかなと思う。そのため血を流し続けるのならば止血をして、次に備えた方が良くと思う。だから本当はこの会議はすごく重要なものだと思うし、公共施設で30年40年経ったものが、これからやっていけるかと思うと難しいし、前回の保育園の話もそうですし、園児が亡くなったらそれこそ大変だし、確かに産業を考えることもあるが、公共物なので皆さんが共有して持っているものなので、しっかり答えを出すことが必要なのかなと思う。
- プ) 具体的に、例えば30年経った保育園を壊していいのか悪いのか、公営住宅があるがそういったものは壊すという決断をして、新しいところに新しい施設を建てるということをすれば新しい人が入るのではないかと思う。一つ一つ具体的な公共施設についてどのようにするか議論しないと、大きな形で何となく良いね、悪いねと今もそうですが、なってしまうような気がしないでもない。
- コ) そういう意味でいうと、市営住宅に関しては市役所側がこれを壊して、建て直すべきかという決断よりは、そこを含めて今回は、皆さんに聞いていると思う。例えば、市営住宅だと一定の低所得の人だけ住むのが良いのか、それとも民間アパートで空いているところ、家もあるので、そういうところに住めば良いではないかという議論もあるので、果たして時代として公営住宅をもっと増やしていくのかどうか、減らしていくのかを議論していけば、本当は皆さんからそういう意見をもらいたいのかなと思う。
- プ) そういったことを受けて私らはこうですが、市はどうですかと。

- コ) そういう意味で今回、11の公民館を8つにするのはどうですかという意見の聞き方ではなく、そもそも公民館でどうでしょうという投げ方なので。市役所側にアイデアが無いわけではないが、もう少し早い段階から意見を聞きたいというのが今回の趣旨。
- 市役所だけだと11の公民館を8つにすることだけを考えて、コミュニティセンターをそのままにしたり、そもそもそういう使われ方をしていないということが抜け落ちてしまうので、もう少し生活実感のある皆さんの意見を聞きたいのだが、皆さんからするとどかしいと思う。市役所で考えを早く下してよ、と思うかもしれない。
- プ) 市営住宅は、生活水準に合わせた人しか入っていない。だから、古いところは生活水準の低い人しか入っていない市営住宅は結構あると思う。新しく立て直すから出ていってくださいと言っても元々生活水準の低い人なんだから、どこに行けば良いとなる。そこまで考えて市役所は言うと思う。そこに余分なお金がどんどん出て、みんなの税金がそこに使われるのであれば、もう少し面倒見てあげる、福祉の面で、やっていただかないと、市営住宅はこのまま古いまま、そういった人を受け入れる状況になっているのではないかと思う。
- コ) これは逗子市の例だが、平屋の市営住宅が3か所ありました。どれも木造で老朽化しているので、壊しますとなったら、3階建ての鉄筋コンクリートをこの地域に作りますので、ここに入ってもらってから取り壊すとした。
- プ) 家賃は、当然新しい建物だからそれに見合った家賃を取るようになると思うが。
- コ) 若干上がることになるとは思うが、そんなに極端に上がるわけではないので、民間のアパートのように広がったから何倍に上げるというようなことはない。収入以内なので。
- プ) 納得して行っていただければ良いけれど、それが一番理想だが、住んでいる人たちがそこまでできない場合はどうするのかと思う。
- コ) 現実には老朽化したり、無くなったりしてもう入らなくなったら、空き家になっているのを壊して、そこに新しいのを建てて、次にちょっと古い住宅の人が移ってとなる。1つずつ壊していき、土地を更地にして、逗子市の場合はお金がないので土地を売っていく、そういう流れになっている。
- プ) そう言うのが一番良いと思う。
- コ) あとは集約化ですが、逗子市は土地が狭いのでできることだが、全然、生活の雰囲気異なるところに移るとなると抵抗感があると思う。隣近所の関係もあるとそこが崩されてしまうので、そういうのもあるかなと思う。
- プ) 新日鉄関連の人が退職する時期にある。社宅から出なければいけないが、住むところが無いとなると、市営住宅、県営住宅は空きを待っている近くの、逆にうちの近くの市営住宅が空いているから入らないかと言っても、田舎だから入りませんとなってしまうことが多い。だから、市が早めに新しいところができるからと調整してくれればと思う。

- コ) そうすれば計画的に進むことになるのかなと思う。
- プ) 次回の話を伺いたい。今回の話は個人の方の生活環境とか、そういうことを踏まえて個別なことが出てきていたと思う。次回は協議を踏まえて提案書を作ることになると思うが、このペースのまま個別の話を続けていくと次回も同じことになり、提案書というものに持っていくのにかなり時間がかかりそうだが、次回はどういう形で進めていくつもりか逆に聞きたい。
- ク) 前回のレビューの個別の意見なり、コメント、そして今回の意見も、皆さんのものを集めると、一定の方向性とか共通項が括れるので、皆さんからいただいた意見の一文一文を集約する作業をやります。それを3会場全てでやって、その中で一般化されたものを、例えば廃校の活用の話だとか、公共施設の制約が一定あるのではないかとといったことを取り払えば、市民の方の活用だとか参入に繋がるのではないかとというように一般化して行って、それが提案書の柱というか、骨子になっていくので、それを次回提示して、それに対して変更だとか肉付けだとかをしてもらうような議論になると思う。

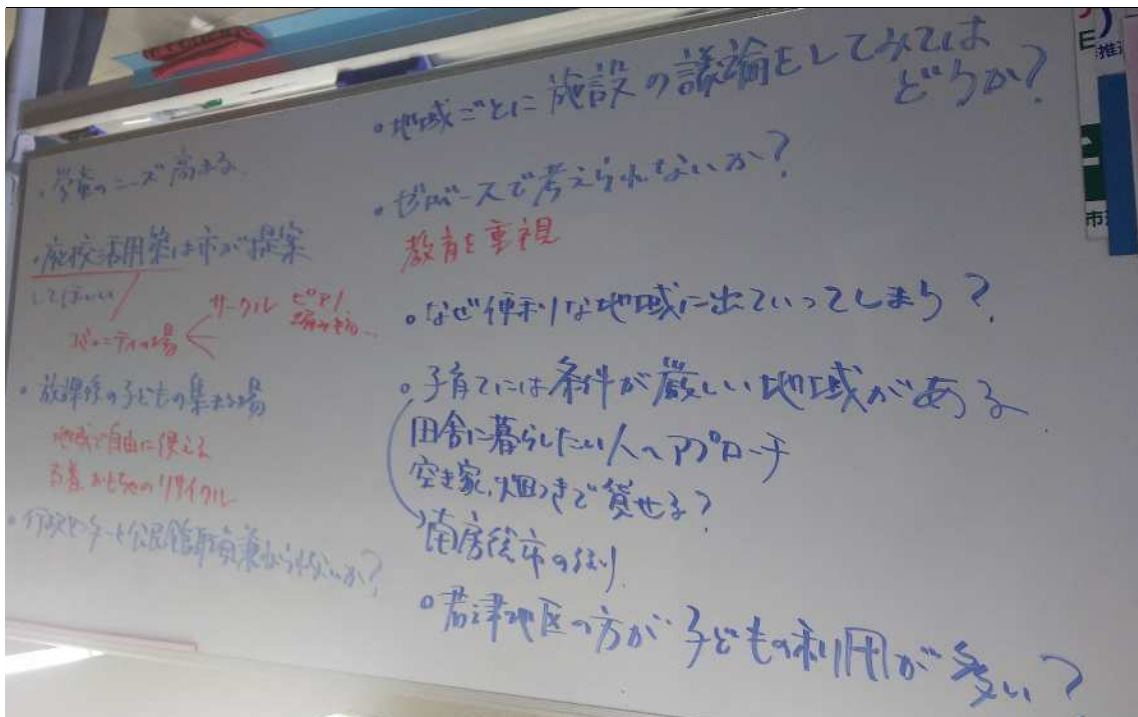
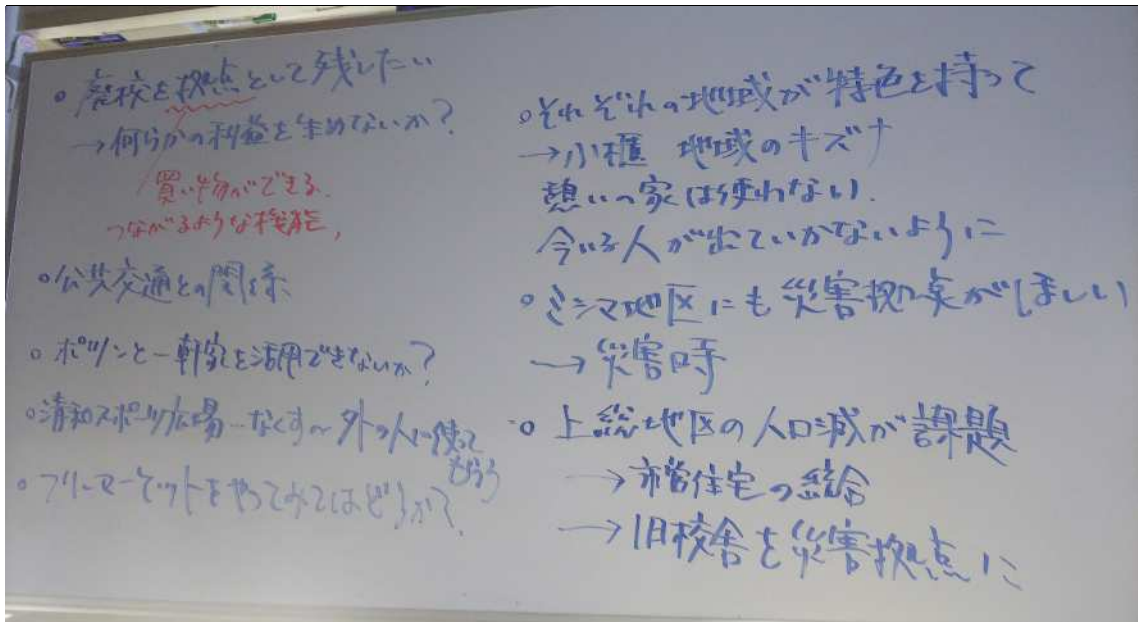
いきなり集約したものを次の会議で出されても読んでいない時間はないと思うので、今回のように事前に資料を配付して、自分の意見は大分丸まったが、これだろうとか、自分の意見はどこに行ったか分からないといったことがあるかもしれないが、次回はそういった作業をする。市役所が作文するのではなくて、あくまで皆さんが議論したものをまとめて、ここここが共通しているという作業をして最終的に提案書にまとめる。だから、その中に新しい公共施設の建設パーツがあるわけではなく、先ほどのようにヒントになるものが、例えば、公共交通の課題があるとか、それは公共交通の不利な地域もあるし、ひょっとすると君津地域にもコミュニティバスの経路によっては不利な地域があるかもしれない、そういう指摘がまとまったものが、最終的な提案書になる。

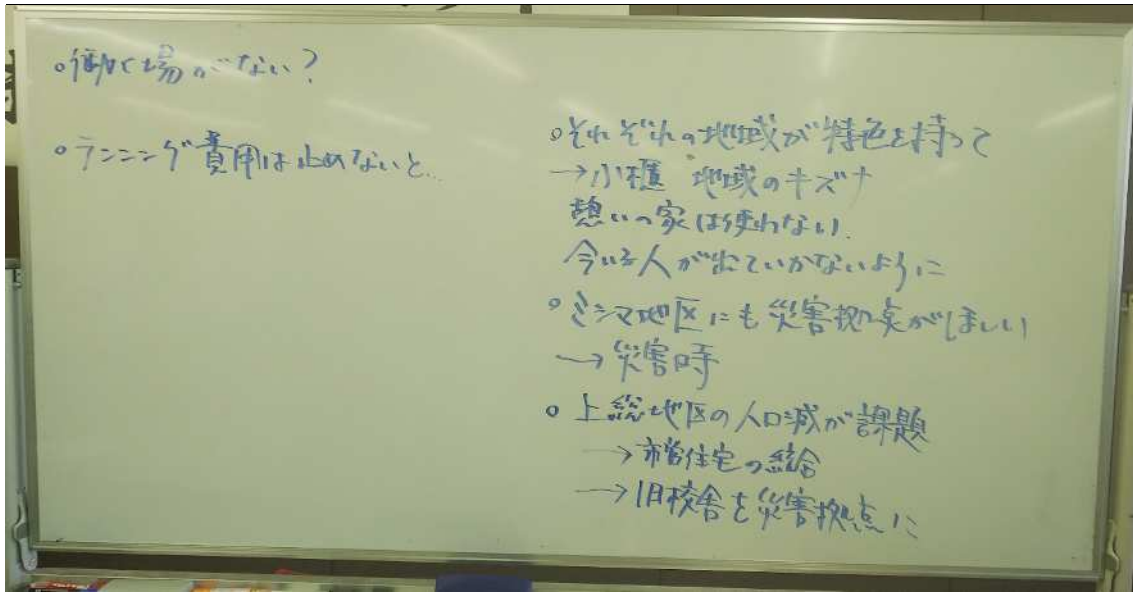
バスの時間が変わるとかそういうものではないので、そこにいくための提案のための一歩だと思うので、是非、だったら書くというのがあるならシートに記載していただきたい。

次回は、そのような形でやる。今日のようなことを一月考えておいてもらえれば、あと、こちらから資料が送られますので、目を通していただいて、自分の意見はここにありそうだから、次回はここに対して意見を言おうと考えてきていただけるとありがたい。

他に確認したいことが無ければ、今日の会議はこれで終わりにしたいと思う。

ホワイトボードの写真





次回の協議会に向けた準備

次回の協議会の目標

- 特になし

次回の協議会に向け準備する資料等

- 特になし

備考（その他、記録すべき事項を適宜追加）

- 特になし